

事業所名

ぽぷらの樹 生野

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

24 日

法人（事業所）理念		笑顔をはぐくみ 笑顔をつなぐ								
支援方針		日々の生活からコミュニケーション・ソーシャルスキルを学び、集団活動を通して協調性を磨くことで一般就労を目指す。								
営業時間		平日	12 時	0 分	から	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり	なし
		土日祝 長期休暇	9 時	0 分	から	15 時	0 分			
支援内容										
本人支援	健康・生活	健康：毎日の食生活の確認から、家庭での栄養状態を把握する。体操やストレッチで基本的な体力づくりを行う。保護者様と連携しながら服薬管理を行い、いずれは自身で管理ができるよう練習していく。 生活：身の回りを清潔にし、食事動作・衣類の着脱・排泄等の生活に必要な基本的技能の獲得を目指す。								
	運動・感覚	運動：体幹トレーニングによりケガをしにくくなる身体をつくり、日常生活での姿勢保持や集中力の向上を目指す。 感覚：補聴器や人口内耳装用の児童が、自分の持つ感覚を最大限いかせる環境作りを行う。感覚過敏や感覚鈍麻をもつ児童1人ひとりに合わせた環境調整を行う。								
	認知・行動	認知：生活するうえでのお金の使い方やその価値を正しく認識できるよう練習する。空間・時間等の概念の形成を図り、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する。 行動：児童1人ひとりの認知特性を踏まえ、不適切行動の理解と適切な行動への切り替えができるよう療育を行う。また、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防をする。								
	言語 コミュニケーション	言語：話言葉や文字等を用いて、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、自身で言語を受容し表出することができるよう療育を行う。 コミュニケーション：個々の障がい特性に応じたコミュニケーション手段を身につけ、他者と円滑な関係を築けるよう療育を行う。								
	人間関係 社会性	人間関係：自身の感情をコントロールできるようになり、相手の気持ちを理解した言葉遣いや行動を身につける。 社会性：集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう促す。また時間や予定を意識し、お互いに声を掛け合える関係性を育む。								
家族支援		送迎時にもご家族様と密にコミュニケーションをとり、子育ての悩みや相談に対する助言や精神的なケアを行う。			移行支援		ご利用者様・ご家族様のご希望をお伺いし、出来る限りご希望に添えるような進路選択を一緒に行っていきます。また、学校卒業後、一般就労できるように最低限の社会スキルの向上を目指しております。			
地域支援・地域連携		ご利用者様の安心した生活を守るために地域の機関・地域の方々と密に連携をとっていきます。地域で行っている研修や連絡会へ積極的に参加しています。			職員の質の向上		毎週の会議にて療育・支援の方向性を固めることや年間研修スケジュールに沿った研修を計画的に行い、職員の療育・支援レベル、質の向上を図っています。			
主な行事等		書初め、節分、ひな祭り、お花見、サッカー大会、七夕祭り、水遊び、作業所夏祭り、作業所体験、農業体験、食育、ハロウィン、白ゆり祭り、クリスマス、餅つき、大掃除								